

これだけは覚えよう！重要ポイント

全数調査

全てを調べる

標本調査

一部を調べて推定

使い分け

費用・時間・破壊の有無

Q. 全数調査と標本調査の違いは？ 全数調査は全て、標本調査は一部だけ調べる。目的に応じて使い分ける。

① 全数調査とは

定義

調べたい対象の全てを調査する方法。国勢調査など。

全員・全部を調べる

② 標本調査とは

定義

一部（標本）だけを調べて、全体の傾向を推定する方法。

一部 → 全体を推定

③ 全数調査の例

例

国勢調査、選挙、全員のテスト採点など。

国勢調査

④ 標本調査の例

例

視聴率調査、製品の抜き取り検査、世論調査など。

視聴率調査

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 常に全数調査がよいと思う

✖

全数調査が常にベスト

○

費用や破壊を考慮して選ぶ

全数調査は費用がかかる。破壊検査は標本調査しかできない。

⚠️ 標本調査は不正確と決めつける

✖

標本調査 = 不正確

○

適切な標本なら信頼できる

無作為抽出なら標本調査も十分信頼できる。

最終確認チェックリスト

- 全数調査と標本調査の違いを説明できるか？
- それぞれの例を挙げられるか？
- 使い分けの基準を理解したか？